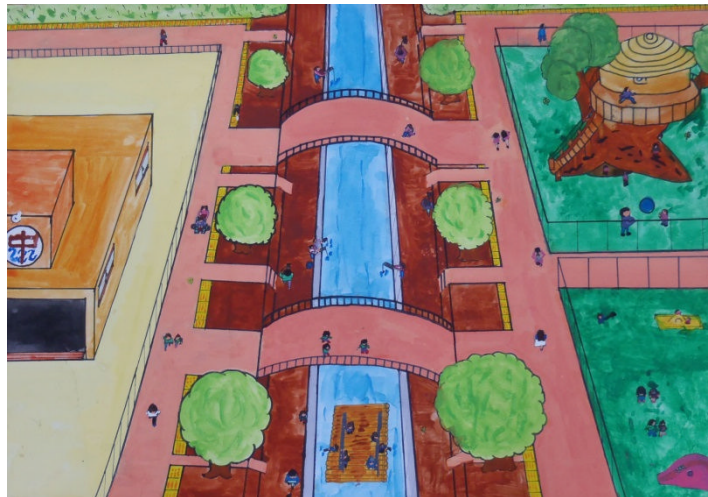


中川地区まちづくり計画書



最優秀「未来の中川」 辻 悠花さん

平成 27 年 5 月策定

松阪市嬉野中川まちづくり協議会

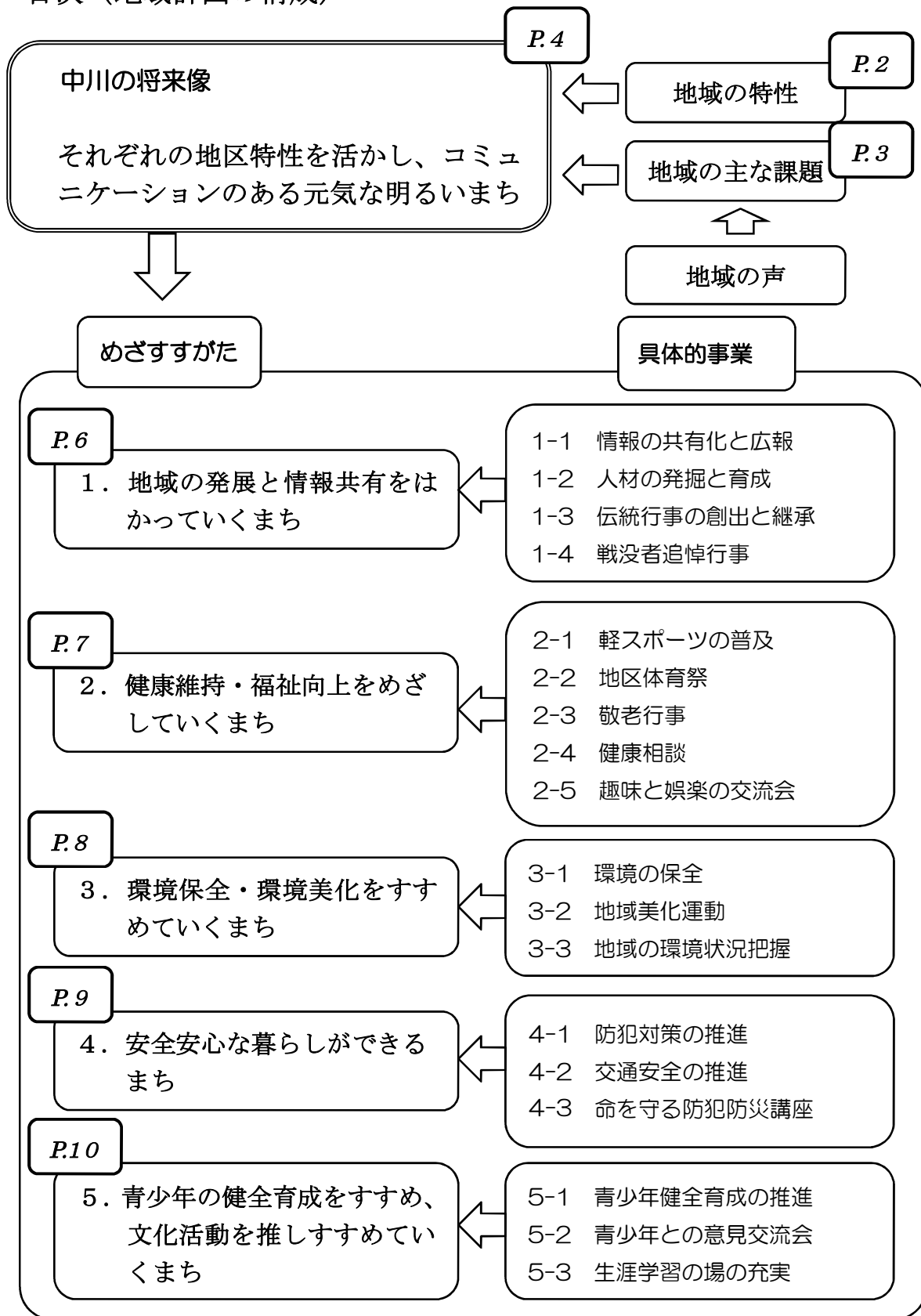
表紙の作品の説明

絵の中央部を通っているのが中村川で、左側が中川小学校、右側が公園です。

車が一台もないのは環境のいい中川にしたいからで、緑が多いのもそういった理由からです。
また、所々土があるのは土は涼しげがあるからです。

私は、年々交通量が増す中、良い環境を守り続けるのはとても重要なことだと思い、この絵を描きました。私は、未来の中川がこんな風楽しさもあるけど自然あふれるようなところになったらいいなと思います。

目次（地域計画の構成）



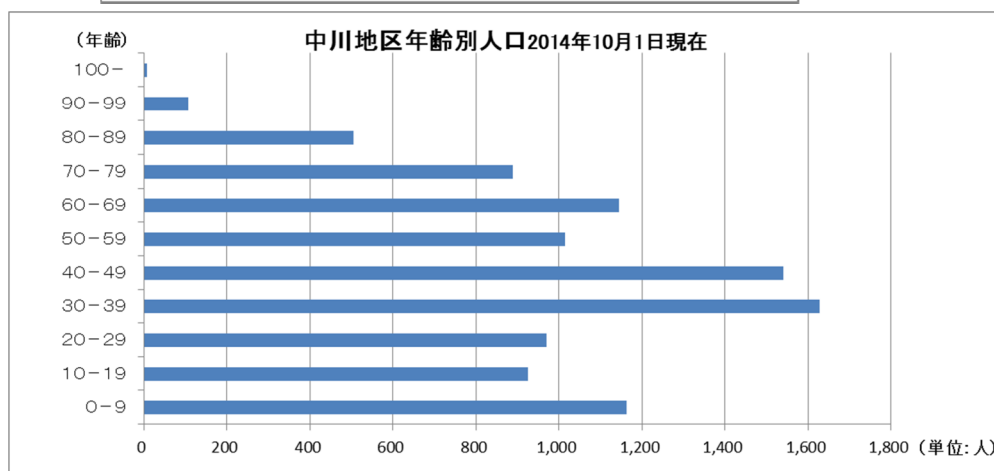
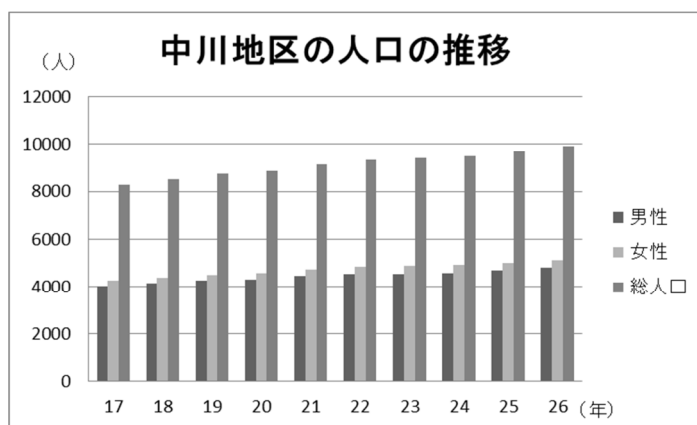
I 中川地区の概要

1 地域の特性

中川地区は雲出川、中村川の下流域にあって肥沃な土地が広がる地域で、松阪市の北東部に位置しています。また、中川地区の西方の天花寺地区を中心とした地域は歴史的な資産が多く分布しています。

幹線の県道が東西方向と南北方向に走っていて、朝夕の時間帯には車の量が多くなります。中川小学校の児童、嬉野中学校の生徒の通学時間帯とも重なり、狭い道路では危険な状況が続いています。

近年、近鉄中川駅周辺に、通勤等の交通の利便性などから人口が急増し、新しい住居環境ができてきています。中川地区の人口は9897人（平成26年10月1日現在）です。また、中川地区には、小学校、幼稚園・保育園、公民館などの教育施設、老人養護施設や介護施設などの福祉施設やスーパーなどの商業施設も充実してきています。



このような地域特性をもつ中川地区のまちづくり協議会は、目的達成のために、自治振興総務部、健康福祉部、環境美化部、防犯防災部、教育文化部、広報部、体育部の7部会を設置し、場合によっては、行政、各種団体、ボランティアと協働して事業を展開しています。

2 地域の主な課題

○全般的な課題

- ①まちづくり協議会では、たよりなどで事業の案内などを地域住民に周知して、恒例の事業を展開して、多くの人がその事業に参加していただいておりますが、参加する年齢層に偏りがあります。周知のしかたや事業内容の固定化などが要因の1つになっていると考えられます。
- ②絶えず事業ごとに多くの人からの声を聴き、それを元に評価をし、次回以降の事業に反映させていくことが必要です。多くの人がまちづくりの事業に参加・参画してよかったと実感してもらえるものにしていかなければならないと考えます。

○各分野別の課題

(1) 地域振興分野

- ①7つの部会が多くの事業を計画し、活動しています。しかし、計画やそのようすなどをまちづくりニュースとして発行して周知していますが、より読みやすい、親しみやすいニュースにしていく必要があります。
- ②まちづくり協議会へのニーズをとらえる方策を考え、事業に反映する必要がありますが、まだ十分とはいえない状況です。

(2) 健康福祉分野

- ①だれでもが気軽に参加でき、交流の場となる軽スポーツの普及を図っていく必要があります。また、地区体育祭についても多くの人参加ができるような方策を考えていく必要があります。
- ②少子高齢化社会が進む中、健康維持や福祉向上への取り組みのあり方を考えて、現在実施している事業の内容を充実していく必要があります。

(3) 環境美化分野

- ①生ゴミの堆肥化やエコカップの収集などの活動を通して、まず家庭から地球環境の保全の取り組みをすすめています。その意義を十分理解し、活動の輪を広げていくために、啓蒙活動を展開する必要があります。
- ②道路際や空き地などへゴミが多く捨てられている状況が続いています。ゴミゼロ運動を展開するとともに、道路や公園などでの美化運動の輪を広げていくことが大切です。

(4) 防犯防災分野

- ①中川地区を通る県道をはじめ市道などで、交通量が増えてきています。特に朝夕の交通量が非常に多くなってきています。朝は子どもたちの通学時間帯と重なり、交通事故に遭う危険性が高まっています。特に高齢者や子どもたちが交通事故から身を守るための対策をさらに講ずる必要があります。
- ②南海トラフ地震がおこったら、川が氾濫したら、どのように避難するのかを自分の住んでいる地域の土地の特性を考えて避難方法など身を守る対策が必要です。
- ③青パトによる地区内の防犯パトロールで、抑止効果や啓蒙の点では効果がでていますが、家庭での防犯に対する意識の向上をはかる必要があります。

(5) 教育文化分野

- ①青少年を取り巻く生活環境は大きく様変わりしてきています。青少年の声を反映した事業を考えていくとともに、子どもたちへの声かけ運動やオアシス運動のさらなる広がりが必要と考えます。
- ②中川公民館では、講座やサークル活動などが盛んに行われています。生涯学習の場として、さらに多くの人が活動できる環境整備が必要です。

Ⅱ 中川の将来像

それぞれの地区特性を活かし、
コミュニケーションのある元気な明るいまち

地域住民が、日々安全安心な暮らしができるようにする取り組みが大切だと考えます。また、それぞれの地区の住民が多種多様な交流の場を設定することによって、そこでは、いろいろな話題にコミュニケーションがおよんでいくと考えます。その中でお互いに認め合う意識が芽生え、そういう土壌から元気で、明るいまちづくりができると考えます。それぞれの地区の特性を活かした新しい文化を創出していきたいものです。

Ⅲ 地域のめざすがたと その具体的計画

注：

※1 具体的計画の事業名の後ろの【 】内は事業主体、〔 〕内は協働 を表す。

※2 ○印は継続事業、◎は新規事業を表す。



優秀「未来の中川」 山田陽日さん



優秀「未来の中川」 吉田裕紀さん

【めざすすがた1】

地域の発展と情報共有をはかっていくまち

事業展開の方針

- ・時代に即応した人材の育成と確保のために、組織や事業などのあり方を見直していきます。
- ・活動のようすや事業カレンダー、地域の出来事などの情報をまちづくりニュースとして情報発信していきます。
- ・あらゆる場で、多くの方から中川を語っていただき、その内容を具現化していきます。
- ・それぞれの地区の特性を反映した伝統行事の創出や継承をしていきます。
- ・戦争の悲惨さを風化させることなく、将来に伝えていくために追悼行事などの行事を開催していきます。

具体的事業

1-1 情報の共有化と広報 【広報部】・〔自主〕

- 情報収集（その都度）
- 嬉野中川まちづくりニュースの発行（年6回、各戸配布）
- 行事案内チラシの発行（必要に応じ発行）
- まちづくり協議会の活動の記録パネルの作成
- 掲示板設置の補助（事務局扱い）



1-2 人材の発掘と育成

【自治振興総務部】・〔各種団体〕

- ◎中川の将来を語る会の開催
（自治会単位、各種団体単位）
- ◎人材バンクの開設

1-3 伝統行事の創出と継承

【自治振興総務部】・〔該当自治会〕

- 各地区の祭りなどの助成
（開催自治会への助成）
- ◎伝統行事の創出の呼びかけ

1-4 戦没者追悼行事

【自治振興総務部】・〔遺族会〕

- 中川地区戦没者追悼式の開催（毎年10月）
- 地区慰霊祭の助成（開催自治会への助成）
- ◎平和パネル展などの開催
（戦争の悲惨さを訴えるパネルなど）



【めざすすがた2】

健康維持・福祉向上をめざしていくまち

事業展開の方針

- ・軽スポーツの普及や地区体育祭、囲碁大会などを開催し、健康維持に努めるとともに、交流を図っていきます。
- ・自らの心身の様子を知るために、機会あるごとに健康相談や健康チェックを実施していきます。
- ・高齢者を敬い、高齢者に学ぶ敬老事業を推進していきます。
- ・地域福祉計画を実践していきます

具体的事業

2-1 軽スポーツの普及

【健康福祉部・体育部】・〔自主〕

- グランドゴルフなどの開催（年2回）
- ウォーキングの開催（年1回、各地区の巡回）



2-2 地区体育祭 【体育部】・〔体育委員〕

- 地区体育祭の開催（毎年10月）



2-3 敬老行事 【健康福祉部】・〔民生児童委員〕

- 中川地区敬老会の開催
（毎年9月、実行委員会で開催）
- ◎高齢者のお知恵拝借講座（年1回）

2-4 健康相談 【健康福祉部】・〔行政〕

- 健康相談会の開催（年2回程度）
- 自分の身体健康チェック会の開催



2-5 趣味と娯楽の交流会 【健康福祉部】・〔喜楽会〕

- 芸能大会など開催（年1回程度）
- 囲碁・将棋大会などの開催（年1回）

【めざすすがた3】

環境保全・環境美化をすすめていくまち

事業展開の方針

- ・自分たちのまちを自ら美化につとめて、ゴミのない美しいまちをつくっていきます。
- ・家庭ゴミの減量化やエコキャップ運動をとおして環境保全の大切さを啓蒙していきます。

具体的事業

3-1 環境の保全 【環境美化部】・〔行政・民間団体〕

- ◎生ゴミ堆肥化運動の展開（常時）
- エコキャップ収集活動（家庭で常時）
- 家庭ゴミの少量化運動の推進（常時）



3-2 地域美化運動

【環境美化部】・〔行政・中村川さくら公園保存会・自治会〕

- 中川駅周辺の清掃活動（年3回程度）
- ◎中川駅周辺を中心とした路上喫煙防止の取り組み
- 各地区内の清掃活動の展開（随時）
- 中村川さくら公園の清掃活動（月1回）

3-3 地域の環境状況把握 【環境美化部】・〔行政〕

- 環境パトロールの実施（月1回）
- 荒地・耕作放棄地の調査
（年1回で、行政と協議）
- 啓発活動（常時）



【めざすすがた 4】

安全安心な暮らしができるまち

事業展開の方針

- ・青色パトによる防犯パトロールを実施し、防犯の抑止と啓蒙をすすめていきます。
- ・危険箇所の把握をし、子どもや高齢者を主とした交通事故から守るために方策を講じていきます。
- ・地震や洪水から身を守るために、その地区の土地の特性を活かした防災訓練の推進と啓蒙活動を展開していきます。

具体的事業



4-1 防犯対策の推進

【防犯防災部】・〔警察署・講習会修了者〕

- 青パトによるパトロール活動
(講習会修了者、週 2 回程度)、
(防犯防災部員、月 1 回)
- 防犯灯の設置補助 (事務局扱い)

4-2 交通安全の推進

【防犯防災部】・〔警察署・交通安全指導員・保幼小中 P T A〕

- ◎夜光反射材の着用運動の展開 (常時)
- 交通安全注意看板の設置 (年 2 カ所設置)
- 通学路の点検とその対策 (常時)

4-3 命を守る防犯防災講座

【防犯防災部】・〔行政・公民館・消防署〕

- 防犯や防災講座の開催 (年 1 回以上)
- 救急救命講習会などの開催 (年 1 回以上))
- ◎避難訓練の実施 (年 1 回)
- 防災マップなどの作成と情報共有
(自治会単位で作成→集約→共有)
- 防災意識の高揚 (常時 声かけ運動など)



【めざすすがた 5】

青少年の健全育成をすすめ、文化活動を推し すすめていくまち

事業展開の方針

- ・ 青少年に声かけ運動の一環として、オアシス運動を推進し、交流を深める一助としていきます。
- ・ 青少年の考えをまちづくりに反映していくために、学校などと連携して若者の意見交換会を実施していきます。
- ・ 公民館は生涯学習の場として、住民のニーズにあった講座などの開催やサークル活動支援の充実をはかっていきます。

具体的事業

5-1 青少年健全育成の推進

【教育文化部】・〔育成会・自治会・小学校・幼稚園・保育園〕

- オアシス運動の徹底と展開（常時）
- 通学路の安全点検と対策の実施
- 声かけ運動の実施（常時）
- もちつき大会の開催（毎年 1 月）



5-2 青少年との意見交流会

【教育文化部】・〔小・中学校・各種団体〕

- ◎子どもとの集いの開催



5-3 生涯学習の場の充実 【教育文化部】・〔公民館〕

- 公民館活動の地域支援（研修旅行、親子教室の開催など）
- 中川地区文化祭の開催（毎年 11 月、実行委員会で実施）

◎ 中川小学校 6 年生のみなさんに「未来の中川」の絵を描いていただきました。

入選作は以下の通りです。

最優秀 辻 悠花さん

優秀 山田陽日さん 吉田裕紀さん

佳作 田中利佳さん 平岡伶奈さん 小林可麗さん 板崎未歩さん 竹口楽々さん

